

仙人通信 148 鍬柄山(598 m)・大桁山(835 m)

大桁山は、高速道路下仁田 IC 出口の先の南牧川を挟んで、聳える三等三角点の山である。一方鍬柄山は、大桁山の南に寄添う岩峰で、別名「石尊山」と呼ばれる山である。上信電鉄の下仁田の手前の千平駅から林道を進む登山コースだ。車で林道を進むと鍬柄山を示す道標があり、その先に 4 台程度駐車できる広場だ。ここから鍬柄山をピストンする事にした。道標に従い杉林の中を進むと、鍬柄山阿夫利神社の小さな祠だ。阿夫利とは雨乞いの意味の神だそうだ。更に杉林の九十九折りのコースを 20 分程進み西の肩に出る。ここから直立した岩峰の基部を東に進み、まずは尾根の付け根までステンレスの鎖を頼りに登る。3 点ホールドと自分に言い聞かせての岩登りである。岩質は石英と斜長石の斑晶岩だそうである。背中には紅葉した山肌と下仁田の町が望める。15 分程で鳥のとさか状の尾根に出る。尾根にも鎖が張られ、鎖場は全長 100 m を超える。15 分で石の祠が祀られた山頂である。山頂からは、北側に大桁山が、西側から荒船・物語・鹿岳・稲倉・赤久縄・御荷鉾と登った西上州の山波である。下りは登ったコースを 35 分で車に戻り、次は大桁山である。林道の先にある釣り堀池を通り、真赤に紅葉したモミジに囲まれたやすらぎの森駐車場だ。大桁山を示す道標に従い杉林のコースを進むと「関東ふれあいの道」の碑があり、10 分程で林道に出る。沢に沿って登る林道は杉林の中で展望は利かないも、ノアザミの赤い花・白いノギク・黄色いヤクシュソウ・白いセリの花が散見される。舗装された林道を 30 分程進むと、五又路の川後石峠である。左手の鎖が張られた未舗装の林道を 20 分程進むと、山頂まで 700 m の道標があり、ここからは木製の階段となる。100 段程の階段を詰めると、西に向かい若干下降する林道で 20 分程進むと、山頂に向けての階段だ。最後の階段でやっと杉林から紅葉したツツジ・柏・朴ノ木・アジサイ等の落葉樹となる。駐車場から 80 分で三角点の山頂に到着だ。丸太を割ったベンチが 6 本置かれた広場からは、北側に妙義の金鶏山の岩場・東側には赤城や鳴神山等の山並み・南側は御荷鉾から稲倉等の西上州の山並みが、鹿岳からの西側の山並みは檜の林に覆われ視界 0 である。残念・・・

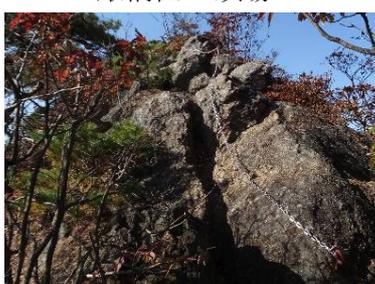
休憩後、登って来たコースを、ゆっくり 1 時間を掛けての下山路となりました。

両山での休憩を入れて 3 時間 15 分 (19500 歩) の山旅ができました。(h 28. 11. 17)

鍬柄山山頂から荒船山



鍬柄山の鎖場



大桁山山頂

